第74号

藤岡市 議会だより

3月定例会のあらまし

定例会は、2月25日から3月15日までの20日間の会期で開催されました。

平成28年度藤岡市一般会計予算など56議案が提出されました。

◆25日＝本会議　会期の決定。市長提出議案55件を上程、うち37議案を即決。

◆5日＝総務常任委員会。教務厚生常任委員会。

◆8・9日＝予算特別委員会。

◆13日＝本会議　一般質問。

◆15日＝本会議　委員会付託議案18件を可決。議員提出議案1件を即決。

●発行日 平成28年5月15日 ●発行 藤岡市議会 ●編集 藤岡市議会だより編集委員会 ●印刷 イシイ印刷株式会社
●藤岡市議会ホームページ http://fujioka.gijiroku.com/

ふじおか桜まつり（4月3日 ふじの咲く丘）

議案等審議結果〈3月定例会〉

番号	件名	結果
市長提出議案		
報告1号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	報告
第1号	藤岡市等公平委員会委員の選任について	同意（全員）
第2号	藤岡市鬼石総合支所設置条例の一部改正について	可決（全員）
第3号	藤岡市公告式条例の一部改正について	可決（多数）
第4号	藤岡市行政不服審査会条例の制定について	可決（全員）
第5号	藤岡市行政不服審査法関係手数料条例の制定について	可決（全員）
第6号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決（全員）
第7号	藤岡市職員の退職管理に関する条例の制定について	可決（全員）
第8号	藤岡市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決（全員）
第9号	藤岡市長等の諸給与条例の一部改正について	可決（全員）
第10号	藤岡市職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決（全員）
第11号	藤岡市職員の退職手当に関する条例の一部改正について	可決（全員）
第12号	藤岡市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部改正について	可決（全員）
第13号	藤岡市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	可決（全員）
第14号	藤岡市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について	可決（全員）
第15号	藤岡市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	可決（全員）
第16号	藤岡市税条例の一部改正について	可決（全員）
第17号	藤岡市介護保険条例の一部改正について	可決（全員）
第18号	藤岡市敬老祝金条例の一部改正について	可決（多数）
第19号	藤岡市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決（全員）
第20号	藤岡市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	可決（全員）
第21号	藤岡市小口資金融資促進条例の一部改正について	可決（全員）
第22号	藤岡市中小企業設備近代化資金融資促進条例の一部改正について	可決（全員）
第23号	藤岡市長期優良住宅の普及の促進に関する法律関係手数料条例の一部改正について	可決（全員）
第24号	藤岡市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	可決（全員）
第25号	藤岡市いじめ問題調査委員会条例の制定について	可決（全員）
第26号	藤岡市公民館設置条例の一部改正について	可決（全員）
第27号	藤岡市世界遺産高山社跡交流センターの設置及び管理に関する条例の制定について	可決（全員）
第28号	群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について	可決（全員）
第29号	市道路線の認定について	可決（全員）
第30号	平成27年度藤岡市一般会計補正予算（第3号）	可決（全員）
第31号	平成27年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）	可決（全員）
第32号	平成27年度藤岡市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決（全員）
第33号	平成27年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）	可決（全員）
第34号	平成27年度藤岡市介護老人保健施設特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
第35号	平成27年度藤岡市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
第36号	平成27年度藤岡市学校給食センター事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
第37号	平成27年度藤岡市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決（全員）
第38号	平成27年度藤岡市特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
第39号	平成27年度藤岡市簡易水道事業等特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
第40号	平成27年度藤岡市三波川財産区特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
第41号	平成27年度藤岡市水道事業会計補正予算（第1号）	可決（全員）
第42号	平成27年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業会計補正予算（第1号）	可決（全員）
第43号	平成28年度藤岡市一般会計予算	可決（多数）
第44号	平成28年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計予算	可決（全員）
第45号	平成28年度藤岡市後期高齢者医療特別会計予算	可決（全員）
第46号	平成28年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計予算	可決（全員）
第47号	平成28年度藤岡市介護老人保健施設特別会計予算	可決（全員）
第48号	平成28年度藤岡市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	可決（全員）
第49号	平成28年度藤岡市学校給食センター事業特別会計予算	可決（全員）
第50号	平成28年度藤岡市下水道事業特別会計予算	可決（全員）
第51号	平成28年度藤岡市特定地域生活排水処理事業特別会計予算	可決（全員）
第52号	平成28年度藤岡市簡易水道事業等特別会計予算	可決（全員）
第53号	平成28年度藤岡市三波川財産区特別会計予算	可決（全員）
第54号	平成28年度藤岡市水道事業会計予算	可決（全員）
第55号	平成28年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業会計予算	可決（全員）
議員提出議案		
第1号	軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、及びその危険性や予後の相談可能な窓口などの設置を求める意見書の提出について	可決（全員）
請願		
第1号	若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める請願	不採択（少数）
陳情		
第1号	軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情	採択（全員）

少子化対策としての結婚支援（婚活）について

小西　貴子

問 藤岡市の未来を創るのは若者や子供達です。今後の政策の中には、ぜひ婚活を入れて頂きたいと思っております。本市の結婚支援の現状と成果について伺います。

答 昭和54年度に結婚相談業務を開始し、藤岡市社会福祉協議会に委託しています。現在の結婚相談登録者数は93名、過去3年間で成立は3組、教育委員会が支援し、藤岡市連合婦人会が実施しているお見合パーティでは10組、また、藤岡商工会議所で行っている事業では昨年7組成立しています。

問 他市との婚活連携について伺います。

答 昨年ぐんま結婚支援連絡協議会が設置され、協議会等の取り組み状況を参考にし、今後、本市でも婚活事業に生かしていきたいと考えています。

問 他市が行っている婚活補助金を始めとする「行政からのサポート」をする考えはあるか伺います。

答 連合婦人会が実施する婚活事業支援の予算措置は計画しています。

問 本市では、婚活の管轄部署が3つに分かれていますが、他市のように統合する考えはあるか伺います。

答 婚活専門部署については、各担当部署での協議により、検討を進めていきたいと考えます。

ららん藤岡について

問 本市が誇る道の駅ららん藤岡の過去の利用者数と売上額、今後の取り組みについて伺います。

答 平成26年度の利用者数は265万人で、前年比104・4％、売上額は27億4000万円で、前年比108・1％となっており、今後もお客様のニーズを把握し施設の魅力を維持できるように管理運営していきたいと思います。

問 ららん藤岡の入り口は非常にわかりづらいと市民から言われていますが、見解を伺います。

答 入り口の看板については、状況を確認し、どのような看板が良いか利用者の目線に立ち、よりよい方法を検討していきます。

高齢者・障がい者支援について

窪田　行隆

問 高齢化が進み、視覚障がい者と、視力が低下した高齢者にも支援が必要です。

目の悪い人の読書に役立つのが文字の大きな大活字本ですが、手軽に読書できるように、市立図書館に大活字本を増やし、広く市民に知らせることが必要と思いますが、考えを伺います。

答 今後は計画的、継続的に大活字本の収集に努めて行きたいと考えています。また広報ふじおか等を活用して、利用促進を図りたいと考えています。

問 大活字本はページ数が増えるため購入費用がかさみ、個人で購入するには負担が大きくなります。障がい者への日常生活用具給付等事業の対象に大活字本を加えるべきと思いますが、考えを伺います。

答 今後対象品目とするよう基準額や上限額などを検討したいと考えます。

問 役所や銀行からの通知が読めず、困っている人などに対し、様々な場面で利用できる代読・代筆サービスが必要と思いますが、考えを伺います。

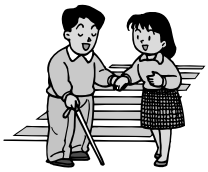
答 視覚障がい者に対しては、居宅介護や同行援護の支給量の見直しと、地域生活支援事業の意思疎通支援を研究し、代読・代筆に対応できるよう検討します。高齢者の場合は、総合事業の生活支援体制整備事業で対応できる様々な支援の中で検討したいと思います。

問 障がい者の外出を支援する移動支援は、障がい者・難病患者が月30時間、障がい児が月15時間という上限時間があります。これを増やすべきと思いますが、考えを伺います。

答 移動支援を多く必要とする方に対する加算等について検討したいと考えます。

問 視覚障がい者の同行援護も上限が月30時間ですが、根拠が明らかな利用者には必要時間を給付するべきと思いますが、考えを伺います。

答 今後、国の国庫負担基準の見直しもあるようですので、支給時間について検討したいと考えています。



市内の景気の動向について

中澤　秀平

問 藤岡市では市内の景気の動向をどのように見ているか、また市独自に調査しているか伺います。

答 景気の動向については市独自のデータはありません。群馬県の工業統計調査では、市内の事業所数は減少しているなか、従業員数・製造品出荷額・付加価値額は増加となっています。また、商工会議所の景況調査では全体の景況感として回復傾向ですが、今後の先行きには懸念を示す結果となっています。

問 非正規労働者の雇用の状況について伺います。

答 市としてデータがないため、全国ベースのデータですが、平成28年1月29日発表の労働力調査では、雇用者に占める非正規の職員、従業員の割合は前年同月比で0・1ポイント増の38・1%となっています。

公立藤岡総合病院の跡地について

問 跡地の利用について、どのような協議がされているか伺います。

答 平成25年度より7回開かれた構成市町村担当課長会議での協議では結論に至っていません。

問 今後の課題について伺います。

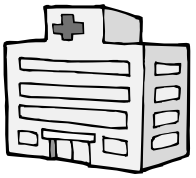
答 現在の課題については、跡地利活用の方策が確定されていませんが、建物を再利用する場合でも、解体し更地にする場合でも、多額の費用投入が想定されることです。

問 跡地利用を検討するための会議に住民も入れて協議を行う考えはあるか、伺います。

答 必要な時期に市民の意見を取り入れる場を設け、有効な利活用を図りたいと考えています。

問 有効な跡地利用のためにはどのような進め方がふさわしいと考えているか伺います。

答 まずは構成市町村で方向性を出した上で市民に情報を開示し、意見もくみ上げながら施策を進めていくというのが基本的な考えです。



介護保険について

茂木　光雄

問 地域包括支援センターの役割について伺います。

答 高齢者の皆さんが地域で安心して暮らすことができるよう、また介護予防のためのサービスの調整を行う機関です。センターには保健師5人、社会福祉士2人、主任ケアマネジャー2人がおり、専門知識を生かして、連携して高齢者への支援をしています。

業務の1つ目は総合相談事業で、介護や介護予防、生活上の悩みなどについて、適切なサービスや介護保険の利用につなげる支援などを行っています。

2つ目は介護予防マネジメント業務、3つ目は権利擁護事業、4つ目はケアマネジャーの研修会、認知症サポーター養成講座、民生・児童委員協議会への参加など、地域との連携強化を図っています。

問 地域の特性に応じたケアシステムを作り上げるための取り組みについて伺います。

答 医師会との連絡調整会議を設置し、連携と意思疎通を図っています。また生活支援と介護予防に力を入れているところです。

問 市の目標について伺います。

答 一つ一つ地道にケアシステムの輪を作り、情報発信に努めながら、平成30年までに構築していきたいと思っています。

跡地利用について

問 鬼石総合支所、公立藤岡総合病院の跡地について伺います。

答 鬼石総合支所は、平成20年度に企業より買い受けの問い合わせがあり、譲渡等の検討を行いましたが、先方より希望が取り下げられたことから、中断しました。その後、平成23年度より鬼石まちづくり検討委員会を設置し、跡地利用の検討を行ってきましたが結論は出ていません。本年4月発足予定の公共施設等総合管理計画に基づくマネジメント推進委員会において、最優先事項として検討していきます。

公立藤岡総合病院入院棟の跡地については、有識者の意見も聞きながら検討を進め、あらゆる手段、方策を考えて良い案を募っていきたいと考えています。

牛田・川除地区圃場整備事業について

冬木　一俊

問 牛田・川除地区を中心とした田・畑が混在する平坦農村地帯を区画整理し、農業の近代化と生産性の向上を図るとともに、農地の流動化を進める事業でありますが、本事業の概要について伺います。

答 本事業については、水田面積24・1ヘクタール、畑面積8・7ヘクタールの計32・8ヘクタールを対象として整備をするものであり、地権者数は92名で平成28年度から平成33年度までの6年間の計画で面整備を行い、総事業費約8億3000万円の予定となっています。

藤岡南部圃場整備地内の舗装工事について

問 現在までの農道舗装工事の要望活動について伺います。

答 平成21年10月に矢場地区、平成23年8月に神田地区、平成23年10月に藤岡南部土地改良区と両地区の連名で要望書が市に提出されており、それぞれ採択されています。

問 現在までの舗装工事の整備状況について伺います。

答 圃場整備地内の道路は、総延長約17・2キロメートルです。現在舗装となっている延長は約4・7キロメートルであり、27％の整備率となっています。

問 今後の工事予定と完了までの見込みについて伺います。

答 地区内全ての未舗装道路を舗装する事は、現在の整備状況から見て10年以上かかると予想されますが、市道124号線三名湖通りの拡幅、県道前橋長瀞線の神田、矢場地区の整備に伴い、周辺住民の生活環境の向上を図れると考えておりますので、緊急性や地域のバランスを考えながら、継続して整備をしていきたいと考えています。

問 この地域の農道については、農道としての役割だけではなく、前橋長瀞線バイパス、市道124号線のアクセス道路、生活道路でもありますので、今後は舗装工事の予定計画を作成して整備を行っていただくよう提言をいたしますが、市長の見解を伺います。

答 これから担当部、担当課の中で予算状況を見ながら、しっかりと計画づくりを進めていきたいと思っています。

公営住宅について

丸山　保

問 市内にある公営住宅について、団地数、現在の管理戸数、入居状況、空き家状況について伺います。また、老朽化住宅団地の対策や高齢の入居者にどのような対策がなされているか伺います。

答 現在の管理戸数は、648戸で、入居状況は544戸に入居、空き戸数は104戸となります。老朽化住宅団地の修繕対策としては、床の張り替えやシロアリ対策、雨どいの修理などです。高齢者の多い住宅では専用住宅の整備は難しいと考えます。今後の動向を見据えながら、入居者の意向に沿った対策を推進していきたいと考えています。

みかぼ保育園用地の跡地利用について

問 閉園後、現在使用している様子はありませんが、用途廃止の時期はいつ頃になるか伺います。

答 建物の耐用年数が22年となる平成28年度をもって用途廃止となります。

問 近くには、土と火の里公園もあり、自然体験と教育の場として一体的な活用ができるよう、保育園跡地に不登校児童の学校を設置する考えはあるか伺います。

答 閉園の決定に合わせて、跡地利用について検討が進められてきましたが、結論を出すに至っておりません。

不登校児童生徒の受け皿としては、今後著しく、通室児童生徒が増加するようであれば、適応施設教室の新たな場所を検討する必要もあると考えています。

問 日野地域には、コミュニティセンターもないため、跡地利用について、行政と地域が一つになって、共に検討をしていただきたいと思いますが、考えを伺います。

答 日野の公共用地、また、公共施設の跡地については、地域の皆さんに、しっかりと行政の目指す方向性を見ていただきながら、一緒に連携して考えていただきたいと思っています。

ひとり親家庭及び多子世帯への支援拡充について

内田　裕美子

問 経済的理由で食事を満足にとれなかったり、親が忙しく、ひとりで食べたりしているひとり親家庭等の児童生徒に対し、安価で食事提供や学習支援を行う「子ども食堂」など、子どもの居場所づくりに取り組む考えがあるか伺います。

答 「子ども食堂」といった形での生活学習支援については、NPO法人等による支援や、地域の農家、食品会社等の協力が得られるかどうかといった問題がありますので、その点を含め、実施ができるかどうか検討を行っていきたいと考えます。

問 「外箱の破損・ラベル印字ミス・売れ残り・形が悪い・食べ切れない等」の理由で、まだおいしく食べられるのに廃棄されている食品を、企業や個人から無償で受け取り、それを必要とする人たちのもとへ無償で届けるフードバンク事業の取り組みの考えがあるか伺います。

答 藤岡市社会福祉協議会が、生活に困窮し、生命の危機にある方に対し食料を現物支給をするなど緊急時食料等支援事業を行っています。フードバンク事業については、社会福祉協議会やNPOと検討を進めていきたいと考えています。

リサイクルの取り組みについて

問 家庭で眠っている古着は、主に海外に輸出され普段着などに再利用されたり、工業用雑巾などに再利用されるため、ごみの減量化、再資源化として、有効だと考えます。資源ごみ回収の際に古着を一緒に回収したり、専用の回収ボックスを市内数カ所に設置する考えがあるか伺います。

答 平成26年8月から、清掃センターに市民が直接搬入されるごみの中から、衣類、ぬいぐるみ等を選別回収し、再資源化を行っています。回収ボックスは、その設置場所の確保等が難しいため、設置は難しいと考えていますが、今後も衣類等のリサイクルを推進するため、さらなる工夫を検討していきたいと考えています。

この議会だよりに掲載してある一般質問は、要約してあります。
詳しくは、藤岡市のホームページや市役所相談室、図書館で会議録（5月下旬公開予定）をご覧ください。

藤岡市議会ホームページ
http://fujioka.gijiroku.com/

市議会を傍聴しませんか？

議会は、３・６・９・12月の定例会と随時に開催する臨時会があります。

◎本会議の傍聴

本会議は、一般の方に公開されており、いつでも傍聴することができます。事前の予約は必要ありません。

傍聴を希望する本会議の当日に、傍聴人受付（市役所２階 議会事務局前）で、受付簿に住所、氏名を記載し、番号札を持って入場します。

傍聴される方に議案集の貸し出しも行っています。

傍聴人の定員は58人です。

◎委員会の傍聴

委員会も本会議と同様の手続きで傍聴することができます。

傍聴を希望する委員会当日に議会事務局までお越しください。

日程については、市議会事務局にお問い合わせください。

また、藤岡市ホームページの「藤岡市議会」→「議会の情報：会議のお知らせ」にも開催予定日を掲載しています。

■6月定例会（予定）

月　日	時　間	摘　要
6月９日(木)	10：00	本　会　議
6月10日(金)	10：00	本　会　議
6月13日(月)	10：00	常任委員会
6月14日(火)	10：00	常任委員会
6月17日(金)	10：00	一般質問
6月20日(月)	10：00	一般質問
6月22日(水)	10：00	本　会　議

問い合わせ ▶ 市議会事務局 ☎40－2377

議会中継をご覧ください

藤岡市議会では、市民に開かれた議会を目指し、インターネットによる録画配信を行っています。

藤岡市議会のホームページから、議会中継を見ることができます。

現在、インターネットで配信されている映像は、平成25年第4回定例会から、3月8日に行われた平成28年第1回定例会（今号掲載分）までの一般質問の様子です。

ぜひ、ご覧ください。

議会中継 ● **録画放映** をクリック

教務厚生常任委員会所管調査

調査日●平成27年7月31日（金）

学校における教室の暑さ対策について

全国公立小中学校の普通教室におけるエアコン設置状況は全国平均32・8％、群馬県平均は57・6％と高いものの、当市は普通教室にエアコンが設置されておらず、12市では沼田市と藤岡市の2市のみの状況であります。

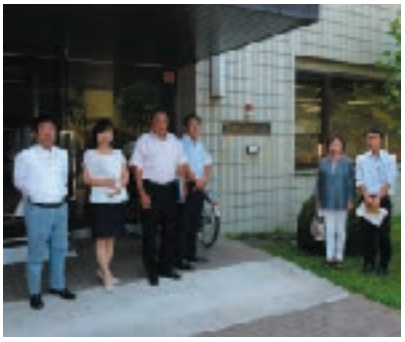
学校側の暑さ対策として、必ず水筒を持たせる、休憩ではなくウォータータイムを設けて水分補給を行う、テント、グリーンカーテンの設置等、各校それぞれの対策を講じており、今のところ熱中症などの被害はありません。また、エアコン設置の必要性について各学校長へアンケートを行ったところ、16校中、「必要」が11校、「不要または優先度は低い」が5校でした。

エアコン設置を実現するためには、各校の暑さの状況を継続的に測定することや他市の設置事例を参考に引き続き調査研究を進めるとともに、設置には多額の費用が見込まれますが、昨今の気候の変動性も鑑みて、小中学校エアコン設置実現に向け、一歩踏み出す時ではないかと考えます。

藤岡市清掃センターについて

藤岡市清掃センターは昭和61年2月に稼働を開始し、29年が経過しています。平成10年度から平成11年度にかけて排ガス高度処理施設整備工事を行い、2号炉を除く機械の大半を更新しています。焼却炉の寿命は20年から25年といわれ、平成36年に寿命となります。国では焼却炉の長寿命化を推進しており、新たに施設を新設する場合、約100億円かかるため、15年後の平成41年まで適正かつ計画的に改修工事を実施し、長寿命化に取り組んでいます。なお平成41年までの補修・改修工事の総額は約20億円の見込みであります。

清掃センターは市民生活に直結する施設であり、計画的に補修・改修に取り組んで頂きたいと考えます。ランニングコストについては、平成41年まで毎年1億円程度かかりますが、新しい焼却施設を建設するのには約100億円の費用がかかるため、長寿命化計画のメリットは大きいと考えます。



委員長　岩﨑　和則
副委員長　小西　貴子
委員　中澤　秀平
委員　大久保協城
委員　松村　晋之
委員　山田　朱美

編集後記

風薫る、さわやかな季節となりました。

第1回定例会では平成28年度一般会計予算をはじめ、各議案の議決を行いました。一般質問では7名の議員により、活発な議論が行なわれました。

議会だよりは、ご覧いただいたとおり、今回の第74号よりカラー印刷となりました。今後も皆様に親しまれる紙面となるよう、取り組んでまいります。

議会だより編集委員会

委員長　窪田行隆
副委員長　中澤秀平
委員　野口靖
委員　松村晋之
委員　岩﨑和則
委員　佐藤淳
委員　冬木一俊
委員　隅田川徳一